



スポーツ たちかわ

NPO法人
立川市体育協会

〒190-0015 立川市泉町786-11
立川市泉市民体育館内
TEL・FAX 534-1483

発行責任者 河内 勝正
編集責任者 木戸口 辰雄

e-mail bz821830@bz04.plala.or.jp



スポーツで元気力^{アップ}笑顔つなげよう!!



スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)の開催まであと1年余りとなってまいりました。

先ごろ行われたロンドン・オリンピックでは、日本選手の大活躍により、史上最多の38個というメダルラッシュに、国内は歓喜の嵐。銀座中央通りで行われた“オリンピック・メダリスト凱旋パレード”では、50万人が沿道を埋め尽くすなど日本国内が祝賀ムードに包まれました。

この高まるスポーツ気運を追い風に、国内最高のスポーツイベントであるスポーツ祭東京2013を迎えてまいります。中でも開催年の前年にあたる今年は、バスケットボール、バレーボール及び自転車(トラック)の3競技について、既存の大会をリハーサル大会と位置付け、競技会開催の広報を通じた競技の普及・啓発のほか、お迎えする選手・役員等の関係者や観戦者へのおもてなしを含め、本大会の成功に向けた大会運営全般に亘る検証を行ってまいります。

市民の皆さんとつくり上げる54年ぶりの国体が、市民の皆さんや関係者の皆さんの心に残る大会となることを願ってやみません。

立川市国体推進室長 井上 隆一

当日ボランティアの方々



6月17日(日) 今年はスポーツ祭2013を目前にして泉市民体育館の大改修の為、場所を柴崎市民体育館に変えての開催となりました。10時の開式前にご来賓の皆様と大会会長清水市長はじめ主催者・選手一同の参列も整い開会、前年度の総合優勝の錦町体育会より優勝旗・優勝カップが返還され、第二位・第三位の体育会の返還と進み、開式通告・大会会長清水庄平市長より「幅広い世代が参加する大会が健康で絆を深め協力して競技参加して下さい、ロンドンオリンピックがイギリスで始まりスポーツも高まり、立川市に

第66回立川市民体育大会 開会式 6月17日(日)

おいてもプレ国体が行われ市民の皆様が主役となって応援に参加して盛り上げていただければ本番に向けて心強いです。」との言葉をいただきました。
市民大会においても力強い錦町体育会代表による選手宣誓が各競技団体の旗に囲まれて終わり、今日の開会式の進行に協力していただいた、立川第三中学校・吹奏楽部顧問の守部先生・神谷先生と生徒の皆様の素晴らしい演奏に聞き入りました。
最後に、スポーツ祭東京2013・マスコット：ゆりーとも参加していましたよ。



立川第三中学校 吹奏楽部

立川シティマラソン2012

併催

第15回日本学生ハーフマラソン選手権大会
ニューカレドニア国際マラソン姉妹提携
3/4(日)に開催されました。
約8,000人の参加がありました。



新年早々の1月7日(土)ザ・クレストホテル立川にご来賓と体育会の皆様が多数集合、河内会長が歓迎の言葉を述べ、引き続きご来賓から「今年はロンドンオリンピックが行われる事もあり、尚立川市に於いても各種協賛団体のご支援を得て、新年早々には駅伝&ロードレースまた立川シティハーフマラソンが開催される運びとなり、イベント満載の幕開けと市民の皆様の期待も大きくなってきました」等々体育協会に向けて期待と励まし多くの激励を頂きました。来年に迎える東京多摩国体の準備も滞りなく体育館と野球場の改修も工事が着々と進行していて期待がふくらんでいきます。会場には国体のマスコットゆりーとが歓迎の出迎えをして出席の方々と和気相合と写真に参加していました。



平成24年度

NPO法人立川市体育協会 賀詞交歓会

7月21日(土) 第46回東京都市町村総合体育大会開会式が国立市民芸術小ホールで開催されました。

今回は立川市と同じ第3ブロックの国立市が幹事市となり開催、共同開催市の立川市からは市議会議員・教育長が出席、東京都の職員の方、市町村関係者からは来年の多摩国体開催に伴う挨拶それに続き幹事市の国立市長からは奇しくも開会式当日が誕生日との話を交えての歓迎の挨拶があり、その後司会者からも何度か本日は国立市長の誕生日の言葉が付け加えられ、笑いの中盛大に開会式を終えました。

東京都市町村総合体育大会は東京都下の26市・3町・1村が参加し13の競技を市町村対抗で行う大会です

毎年各市町村が持ち回りで開催し、市町村都民のふれあいや交流を深め合う大会です。来年は多摩国体開催のため市町村総合体育大会は中止となりました。(次の開催は狛江市です。)



市町村体育協会 功労賞
澤部範儀氏

第46回 東京都市町村総合体育大会

8月5日(日) 第46回東京都市町村総合体育大会閉会式が国立市民芸術小ホールで開催されました。今回立川市は、陸上女子が優勝し、男子総合4位・女子総合3位・男女総合3位でした。



第46回東京都市町村総合体育大会 総 合 成 績 表

男 子			女 子			総 合		
順位	市町村名	得点	順位	市町村名	得点	順位	市町村名	得点
1	八王子市	91.5	1	八王子市	50.5	1	八王子市	142.0
2	町田市	85.5	2	青梅市	35.5	2	町田市	108.5
3	府中市	58.5	3	立川市	34.0	3	立川市	92.0
4	立川市	58.0	4	東村山市	34.0	4	府中市	91.5
5	調布市	52.5	5	府中市	33.0	5	小平市	79.0
6	三鷹市	50.0	6	小平市	29.5	6	東村山市	78.5
7	小平市	49.5	7	三鷹市	25.0	7	調布市	75.5
8	武蔵野市	48.0	8	調布市	23.0	8	三鷹市	75.0

※ 総合得点が同点の場合は優勝種目が多い方を上位とし、優勝種目が同数の場合は上位入賞種目が多い方を上位とします。



寒波襲来の中 場所を柴崎市民体育館に移し、副会長による閉会式の開式通告の後国歌斉唱、市民歌斉唱の後、成績発表、優勝旗・優勝杯の授与(錦町体育会「7連覇」と幸町体育会のテニスの10年連続優勝表彰が清水市長より行われた。その後河内会長より錦町体育会バレーボール女子の3年連続優勝とジュニア地域推進事業優良選手表彰が行われた。本年はジュニアの表彰が6団体と個人の総勢76名となり、いっしょに多くの子供達が表彰されました。これは

第65回

立川市民体育大会閉会式

平成24年2月11日(土) 於：柴崎市民体育館

偏に関係者の努力による賜と感じました。これを励みに今後とも関係者の一層の努力を望むものです。

大会会長清水立川市長によるご挨拶として、本年度は去年3月に大震災が発生の中各関係者のご努力により平年とほぼ変わらず、全ての競技を終了出来たことに感謝の意を、又優勝した錦町体育会を賞して運動の大切さを表されました。

また、平成25年に54年ぶりに東京で開催される国体「スポーツ祭東京2013」に触れ、バスケットボール・バレーボールと自転車競技が本年プレ競技として行われる事と、25年本競技開催に向け 市内宿泊施設で来年の予約がほぼ満室であり、スポーツを通じて立川の活性化がもたらされているので、国体の市内開催競技(バレーボール、バスケットボール、自転車、軟式野球とデモンストレーション競技のミニテニスとダンススポーツ)

の成功に向けて各関係者に協力を依頼されました。その後主催者、来賓のご挨拶等があり閉式となりました。

主な成績

- 優勝 錦町体育会「7連覇」
- 準優勝 砂川体育会
- 第3位 幸町体育会
- 第4位 若葉町体育会
- 第5位 富士見町体育会

立川スポレクフェスタ2012 開会式

今年も異常気象で、サクラの開花が遅れこの日を待っていたように柴崎市民体育館前に流れる根川のほとりのサクラが開きました。昨年は東日本大震災発生で泉市民体育館で行われる予定の開会式典が中止になりましたが、今年は柴崎市民体育館に場所を移しての式典です。

4月7日(土)、午後5時の開式には各競技団体参加者の選手役員がプラカード・団旗を携えて整列して、国歌・市民歌斉唱に続き大会会長、清水庄平市長から「中高年が集うスポーツですから地域の絆・親睦と友好を深め短い期間ですが大会を盛り上げて下さい」と歓迎の挨拶につづき、市議会議員佐藤寿宏氏からは議会を代表して「立川は総てに於いて多摩の中心都市として期待が寄せられている」などの激励の言葉を賜った。

団旗が囲む中選手宣誓は吹矢レクリエーション協会の吉川守さんがユーモアと和を交えながら、「競技を行うことを宣言します」と締めくくり、今年は空手道連盟による模範演技としてエキジビションを小学生が何種類も型を披露してくれました、初めて見た人は見事な複数の子供の乱れのない動作に感激をしていました。

スポーツ祭東京2013(東京多摩国体)のマスコット、

ゆりーとが会場に駆けつけて開会式に参加をした人と朗らかに応援の輪が出来ていました。



第65回

立川市民体育大会

地区対抗種目得点表

種目	地区名	富士見町体育会	柴崎町体育会	錦町体育会	曙町体育会	高松町体育会	羽衣町体育会	砂川体育会	栄町体育会	若葉町体育会	西砂川地区体育会	幸町体育会	柏町体育会
軟式野球		5.5	10.0	9.0	8.0	3.0	3.0	5.5	3.0	11.0	5.5	5.5	3.0
ミニテニス		9.0	3.0	7.0	5.0	3.0	10.0	3.0	8.0	11.0	4.0	6.0	-
ソフトボール	男子	8.0	5.5	5.5	5.5	3.0	3.0	9.0	5.5	3.0	11.0	3.0	10.0
	女子	5.5	5.5	9.0	-	5.5	5.5	3.0	-	11.0	-	8.0	10.0
水泳	男子	6.0	3.0	10.0	4.0	5.0	3.0	11.0	3.0	7.0	8.0	9.0	3.0
	女子	4.0	-	10.0	6.0	3.0	3.0	11.0	3.0	9.0	7.0	8.0	5.0
ゲートボール		3.0	6.0	11.0	3.0	3.0	5.0	7.0	-	4.0	8.0	9.0	10.0
陸上競技	男子	3.0	7.0	11.0	3.0	10.0	6.0	4.0	-	9.0	3.0	8.0	5.0
	女子	10.0	4.0	9.0	3.0	7.0	5.0	6.0	3.0	11.0	3.0	3.0	8.0
バレーボール	男子	5.5	3.0	11.0	-	3.0	10.0	9.0	5.5	3.0	8.0	5.5	5.5
	女子	5.5	10.0	11.0	-	5.5	3.0	5.5	-	5.5	8.0	9.0	3.0
テニス		8.0	3.0	9.0	4.0	3.0	3.0	3.0	5.0	7.0	6.0	11.0	10.0
卓球		7.0	3.0	10.0	3.0	6.0	8.0	11.0	9.0	3.0	3.0	4.0	5.0
バドミントン	男子	7.0	3.0	5.0	3.0	4.0	3.0	8.0	10.0	6.0	3.0	11.0	9.0
	女子	11.0	3.0	6.0	3.0	4.0	10.0	9.0	3.0	3.0	5.0	7.0	8.0
駅伝		3.0	4.0	11.0	3.0	8.0	10.0	7.0	9.0	3.0	6.0	5.0	3.0
合計得点		101.0	73.0	144.5	53.5	76.0	90.5	112.0	67.0	106.5	88.5	112.0	97.5
順位		5	10	1	12	9	7	2	11	4	8	3	6



立川市駅伝競走 & 小学生ロードレース大会

立川市陸上競技協会
理事長 飯塚 智子

新しい年を迎え、気持ちも新たに立川市駅伝競走と小学生ロードレース大会を1月15日(日)に開催しました。

駅伝競走は、1人3.2kmを1チーム6名でタスキを繋いでいきます。コースは立川市役所横からスタートし、立川警察方面へ走り、昭和記念公園立川口交差点を左折、あけぼの口を左折、自治大学、裁判所を経て市役所南向いの立川学術プラザ正門前でタスキを受け渡します。

チームごとに練習の成果を発揮し、力を合わせて、健康増進と親睦を深めたことと思います。

小学生ロードレース大会は、立川市及び近隣からの参加で、約110名の小学生4年5年6年生の男女が、スターター立川市長の号砲で一斉に走り出し、白バイに先導していただきました。こちらも練習の成果を発揮し、表彰式では、うれしそうな笑顔と、充実感でいっぱいでした。

選手が安全に走れる様、警察署、交通安全協会、体育協会、近隣住民、東京陸協所属の日本陸連公認審判員など、多くの方々に支えていただきました。まだ改善しなければならない事もありますが、無事に開催できましたことを感謝申し上げます。

平成24年度開会式表彰者一覧

◆功労賞

団体名	氏名
陸上競技協会	田中利一
野球協会	上野陸郎
"	秋山卓司
弓道会	石坂進勇
ゲートボール協会	山川幸男
新体操連盟	大里康子
錦町体育会	浅香孝一
曙町体育会	小谷博行
西砂川地区体育会	鳴島勇三

◆優秀選手賞

団体名	氏名	摘要
立川第二中学校	川畑 有彩	2011世界ローラスケートスピード選手権大会ジュニア女子の部日本代表出場
	川畑 拳吾	2011世界ローラスケートスピード選手権大会ジュニア男子の部日本代表出場
水泳協会	福島 千代	平成23年度第12回町田市マスターズ水泳競技会200mバタフライ 優勝 日本新記録 第13回CMC新年フェスティバル水泳競技大会 400m個人メドレー 優勝 日本新記録
水泳協会	石橋 敏生	2011年度日本マスターズ水泳短水路大会 4×100m フリーリレー 280～319歳 優勝 日本新記録 2011年度日本マスターズ水泳短水路大会 4×200m フリーリレー 280～319歳 優勝 日本新記録
水泳協会	宮内 勉	2011年度日本マスターズ水泳短水路大会 4×100m フリーリレー 280～319歳 優勝 日本新記録 2011年度日本マスターズ水泳短水路大会 4×200m フリーリレー 280～319歳 優勝 日本新記録
水泳協会	手島 剛	2011年度日本マスターズ水泳短水路大会 4×100m フリーリレー 280～319歳 優勝 日本新記録
水泳協会	山口 末男	2011年度日本マスターズ水泳短水路大会 4×100m フリーリレー 280～319歳 優勝 日本新記録
水泳協会	門雀 準司	2011年度日本マスターズ水泳短水路大会 4×100m フリーリレー 280～319歳 優勝 日本新記録
水泳協会	駒野 誠	2011年度日本マスターズ水泳短水路大会 4×200m フリーリレー 280～319歳 優勝 日本新記録
バドミントン協会	森本 浩子	第28回全日本シニアバドミントン選手権大会女子ダブルスの部 第3位
バドミントン協会	一戸 和美	第28回全日本シニアバドミントン選手権大会女子シングルの部 優勝
空手道連盟	河野 翔一	平成23年度全国中学生空手道大会男子団体形 優勝 平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合優勝
空手道連盟	小嶋 春輝	平成23年度全国中学生空手道大会男子団体形 優勝 平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合優勝
空手道連盟	清水 拓臣	平成23年度全国中学生空手道大会男子団体形 優勝 平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合第三位
空手道連盟	森本 駿平	平成23年度全国中学生空手道大会男子団体形 優勝 平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合優勝
空手道連盟	黒田 航輝	平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合第三位
空手道連盟	佐藤 雄一	平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合第三位
空手道連盟	山口 祐汰	平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合第三位
空手道連盟	萩原凜太郎	平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合優勝
空手道連盟	広瀬 光	平成23年度全国少年少女空手道錬成大会団体形・組手 総合優勝

◆社会体育優良団体賞

体育団体名	団体名
野球協会	中里野球部
幸町体育会	幸町体育会水泳部

表彰者

功労者
谷口信彦氏

優良団体
立川市バドミントン協会

第65回都民体育大会開会式
東京都体育協会表彰
駒沢オリンピック公園競技場

平成23年度
優良選手表彰

平成23年度

第56回日本泳法大会
日本泳法全国大会ジュニア泳法競技
★秀
大塚有希子
加藤 麻純

東京都日本泳法大会
日本泳法競技東京都ジュニア泳法
★第3位
泉澤 百花

第35回関東中学校水泳大会
★100m自由形 第5位
二ノ宮 永慈

第3回三多摩女子軟式野球大会
★優勝
●レディース立川
監督 木崎 茂

大竹 蒼海 聖菜
佐々木通夏 東福 遥
小川 真由 藤井 梨緒
平澤 愛 佐藤 朱希
谷口 瑞紀 洪谷 芙優
宮保 知永 松下 楓奈
上原 彩 石野 結子
小澤 里沙 岡部 華鈴
内田 樂

平成23年度
第34回東京都ミニバスケットボール優勝大会
★第3位
●FJBC
監督 田中 秀明
酒井宏太郎 網代 大悟
大野 泰樹 寺田 樹生
馬場 雅治 馬場 康平
白鳥 岳志 梶原 史稀
桑原 佑多 高橋 佑豪
相吉 玄晴 寛 礼矢
田中 智也 水村 洸生
松崎 優河 松崎 新生
山本 陽己 鈴木 朴哉
青木 雄亮 市村 龍真
溝田 暉

第6回東京都中学生少林寺拳法大会
男子団体演武の部
★第1位
●第七中学校少林寺拳法部
伊藤 銀士 山口 芽依
芝間 涼花 宇田川 紗稀
中山あかり 矢ヶ崎 優香

女子単独演武の部
★第5位
山口 芽依

第55回東京都中学校新人ソフトテニス大会
女子団体戦の部
★第5位
●第三中学校ソフトテニス部
竹内 葉乃 中野 怜美
佐藤 萌絵 吉田 茜
佐々木 花 築山 莉采
新井絵里加

第61回東京都中学校ソフトテニス大会
女子団体戦の部
★第5位
●第三中学校ソフトテニス部
久保田真帆 山崎 舞
小林 愉乃 森 杏菜
植益夢実花 加藤 知佳
竹内 莉子 大富 夏紀

第54回東京都中学校バドミントン新人大会
男子ダブルス
★第3位
前田 順哉 荒川 晴哉

第8回全国子どもダンスうらんど大会
小学生の部
金賞
立川ダンスキッズクラブ
平成23年度東京都小学生空手道選手権大会
小学6年生個人組手の部
★第3位
秋原竜之介

小学1年生組手の部
★第3位
坂本 直哉
中学3年生個人形の部
★第3位
佐藤 雄一
小学5年生個人形の部
★優勝
佐藤 幹太
中学2年生個人形の部
★第3位
岩井太一郎

中学3年生個人組手の部
★第2位
黒田 航輝
小学4年生女子組手の部
★第2位
萩原 日向
中学3年生形の部
★準優勝
山口花那瑚

ジュニア育成地域推進事業

陸上競技

平成23年度は、教室（4月から10月までの毎週日曜日）を実施。そして9月18日は、特別教室として、十種競技の右代啓祐選手とやり投げの海老原有希選手を講師として迎え、指導をしていただきました。二人共、日本記録保持者であり、今夏のロンドンオリンピックに出場しました。小学生と中学生56名・高校生105名を対象に、各レベルに分けて、実技を中心に一緒にウォーミングアップし、種目別のトレーニング方法を教えてもらい充実した内容でした。



印象に残った言葉は、あきらめずに目標に向かって、努力を惜しまない「負けず嫌い」でした。そして10月の記録会で、教室での練習の成果が実践できたか確認します。

新しい年を迎え1月15日に駅伝（一人3・2Kmで6名が1チーム）と小学生ロードレース（2km）を開催しました。市長のピストルを合図にスタートし、道路を白バイに先導され元気に走りゴールしました。

立川市陸上競技協会
理事長 飯塚 智子

ジュニア育成について
立川市柔道連盟

今回のロンドンオリンピックにおいて、日本柔道の惨敗について柔道の指導に携わるものとして、大いに反省すべきであります。

今回好成績を挙げた水泳、サッカー等を見習うのも一つでしょう、長期的展望をもってジュニア育成に力を入れてくれた成果だと、思います。子供たちに一番身近な我々指導者も



今一度原点に立ち返り、体系的に長期展望をもった指導して行く必要があります。

- 1 正しい基本
- 2 正しい受け身
- 3 正しい礼法

以上を根本に、もう一方で、柔道は勝敗だけではなく、礼儀を重んじ、相手を思いやる心を養うというもう一つの側面をも、持った競技であり、こういった面を楽しみながら指導していくのも我々指導者の役目であります。また今春より武道が中学校にて必修化された機会に指導者養成も急務となり、我々もその一助を担えればと思っておりますとともに日本柔道再生に向けて小さな助けになればと思いい、今後も努力してまいります。

立川市柔道連盟会長

伊藤 満雄

立川市空手道連盟 ジュニアスポーツ大会

平成24年7月15日(日曜日)
立川市泉市民体育館にて、東京都のジュニア育成地域推進事業として立川市空手道連盟主管、第六回ジュニアスポーツ空手道選手権大会を百四十七名、役員、父兄百九十名出席して開催致しました。

今回は体育館の耐震工事がありリニューアルオープン後最初の日曜日で、また第二体育室で冷房が無く猛暑の中子供たちは元気よく頑張っておりました。

今回もジュニア育成の観点から、個人戦では得られない協調性、団結心、責任感の育成を目的に団体戦の大会といたしました。小学生は型、組み手共、低学年(一、二年生)、中学年(三、四年生)、高学年(五、六年生)



とし中学生の組み手は男子、女子と分け、三人一組のチームを作り試合を行いました。

子供たちは組み手の時仲間の戦いに必死の応援をし、又型では同じ道場の仲間の試合に応援で最高に盛り上がっておりました。

今回は第二体育室で観客席が無く同フロアで試合、応援も間近で行われたので、選手父兄が一体となって盛り上がり、暑い部屋がよりヒートアップし、じっとしていても汗が出てくる状態でした。審判の方の汗も搾られるほどでした。

大会運営に当たり多くの父兄の皆様にご協力の記録選手のサポート等お手伝い頂き、役員父兄の相互理解を深めました。尚、今回はお忙しい中石川副会長に出席いただき、子供たちへ貴重なお言葉をいただきました。

本大会で、子供達の技術、礼儀、協調性、団結心、責任感の向上と努力の必要性などが得られたと思います、とても有意義な大会になったことと喜んでおります。

立川市空手道連盟
理事 神場 武勝

立川市ソフトテニス連盟

平成二十四年七月三十一日に改装した泉市民体育館で「第六

回立川市ソフトテニスジュニア育成実技研修会」を開催した。立川市立中学校の部活動生徒九十一名、顧問先生六名、実技研修補助者十名、連盟役員六名が参加し、市内ジュニア育成の選手、指導者を網羅して行われた。

立川市ソフトテニス連盟

会長 林 聖二



第34回ハイキングラリー

5月27日(日)

好天に恵まれた初夏の日差しの中、立川公園陸上競技場を全員元気にスタート、日野橋を渡り、多摩川を浅川合流点から万願寺中央公園・日野市民の森スポーツ公園から立日橋を渡り多摩川緑地野球場・根川緑道を出発点の立川公園陸上競技場へと戻るコースで実施され、多摩川沿い浅川沿いでは日陰も無く暑さの中、ゆったりとした歩きが目立っていました。万願寺中央公園では少ない木陰でひと休み、昼食を取られている方が多くみられ、根川緑道では新緑の木陰が続きホットした様子で歩いていました。今回の参加者は26組(63名)で、全員が完走、ご高齢の参加者の方が多い中、85歳になられる方も元気に歩かれ、その元気さには感心・感動させられました。



リニューアルオープン

泉市民体育館

泉市民体育館は昭和55年(1980年)3月に完成、多摩地域でいち早く建設され、以来31年間市民の体力及びスポーツの向上に愛され親しまれながら活用されてきましたが、昨年10月より耐震補強と第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)の開催に向け改修工事が行われ、6月末に完成、7月14日(土)にリニューアルオープンを迎えました。

館内は省エネ仕様にもかかわらず明るくなり、特に第一体育室は空調設備も整い、スポーツには絶好の場となりました。

式典には清水市長を始め佐藤市議会議長・澤教育長・体協の河内会長ら多数が出席し、盛大にテープカットが行われました。

国体マスコットのゆりーと君も来場し、新体操のジュニアのみなさんと清水市長・河内会長と記念撮影を行いました。



立川公園野球場

7月1日(日)スポーツ祭東京2013を迎え足かけ2か年かけた大改修が終わり、お披露目の日を迎えました。

梅雨の時期にて天気が危ぶまれましたが、くもり空の下式典が行われ、清水市長が完成式を迎えての祝辞並びに佐藤市議会議長からの祝辞に続き多くのご来賓からお祝いの言葉がありました。皆さんでのテープカットに続いて、清水市長が真新しいマウンドから始球式で第一投を投げ開場式終了後、引き続き、記念事業として、元プロ野球監督・水上善雄氏、元プロ野球投手・川崎憲次郎氏をお招きして少年野球教室が開けられました。市内の小学生70名余りが、走塁・ボールの握り方からキャッチボール等と事細かくご指導して頂き、参加した子供たちは真剣に学び、この日の笑顔と素晴らしい思い出が今後に生かされることを期待します。

午後からは、立川・日野で硬式野球をしている、立川リトルシニア・立川ポニーベースボール・日野リトルシニアと親善試合が催されました。



競技団体紹介

私ども立川市健康体操連盟では「健康の維持・増進と親睦」を目指して活動しています。

年間行事として合同練習会、野外研修会、そして各教室ではリズム体操、ストレッチ体操、フオークダンス、ヨーガ等を行っています。また、立川市民体育大会の一環としての健康体操大会を日頃の成果の発表の場として催しています。

ここ最近では、会員の年齢層も上がってきましたが、それなりに創意工夫しながら、楽しく、気持ちよく体を動かしております。

婦人だけの団体で初の立川市体育協会への加盟が承認され名称も「立川市婦人健康体操連盟」として柴崎学習館(立川市中央公民館)で、発会式と演技発表を実施したのが昭和49年11月15日でした。

和49年11月15日でした。

最初は会員が少なく、講師の謝礼にも、こと欠く有様で、幼稚園や学校の前で勧誘したり、市の教育委員会にお願いし、市委託として練成館の外、トイレ掃除を会員の手で運営費に充てたこともありました。10周年には会員数300名と組織も安定し、よくここまで成長したものだ感慨深い思いです。

平成2年に婦人を取り「立川市健康体操連盟」と改名しました。

現在ではスポーツジム等が多数でき、それぞれの方が自由な時間に運動出来るので、会員数も減少の傾向にありますが、スポーツジム等に比べてずっと廉価な会費で、参加出来ますのでご一考頂ければと思います。なお下記の体操クラブで、会員を募集しております。

立川市健康体操連盟
会長 横井有江



白百合体操クラブ

月曜日 10:00~11:00
練成館

五々美体操クラブ

木曜日 10:00~11:00
練成館

諏訪の森体操会

金曜日 10:00~11:00
練成館

羽衣体操教室

月曜日 10:00~11:30
羽衣中央会館

柏町体操クラブ

木曜日 14:00~15:30
こぶし会館、幸学習館

